

作業別安全就業指針(就業途上での安全確保)

作業区分	安全就業指針	安全保護具
共通事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動能力、視力、聴力、判断力等の変化を認識し、あせらず、余裕をもって行動すること。 2. 交通ルールを守ること。 3. 「止まる」「見る」「待つ」を常に心掛けること。 4. 歩行、運転等に適した靴をはくこと。 5. 転倒予防、運転に必要な脚力・筋力を維持するために、適度な運動に心掛けること。 	
歩行	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歩道や路側帯のない道路では、道路の右端を通行し、横断歩道がある時は、必ず横断歩道を渡ること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 信号機が赤色・黄色・青色点滅している場合は、焦って横断することなく、次の青信号まで待つこと。 (2) 交差点の横断歩道を青信号で渡る時でも、優先意識を持ちすぎず安全確認を励行すること。特に右折・左折車に注意すること。 (3) やむを得ず横断歩道以外の場所を横断する場合は、見通しの良い場所で左右の安全を十分確認してから横断すること。 2. 歩道や路側帯のない道路では、道路の右端を通行すること。 3. 歩道を歩行中も自転車の接近に十分注意すること。 4. 階段の上り下りは、急がずゆっくりと足を運び、手すりがかみ易いところを通行すること。 5. 車が来る直前または車の通行の直後には横断をしないこと。 6. 車道の斜め横断はしないこと。 7. ポケットに手を入れて歩かないこと。 8. 夜間はドライバーから発見されやすいように、反射材や懐中電灯で目立つように工夫すること。 	反射材 懐中電灯

作業区分	安全就業指針	安全保護具
自転車運転時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自転車は、自動車やバイクと同じ「車両」の仲間であることを認識し、歩車道の区別がある道路では、車道の左端に沿って通行すること。（自転車は、「通行可」の標識がある歩道は通行できる） 2. 安全上やむを得ず歩道を通行する場合には、歩道の右端を車道と同一方向に走行すること。ただし、歩行者の通行を妨げるおそれがある場合は、一時停止して歩行者を優先すること。 3. 見通しの悪い場所や危険を回避する場合以外は呼び鈴を鳴らさないこと。 4. 近くに、「自転車横断帯」があるときは、その横断帯を通ること。 5. 「見通しの悪い交差点」「曲がり角付近」「急な下り坂」では徐行し、急に飛び出したり、進路を変えたり、曲がったりしないこと。 6. 交差点では、必ず一時停止をすること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 標識のある場所ではもちろん、標識のない場所でも一旦停止して、左右の安全を確認しましょう。 (2) 近くに、「自転車横断帯」があるときは、その横断帯を通ること。 7. 雨天の日の雨傘、晴天時の日傘を差した片手運転をしないこと。 8. 走行中は携帯電話・スマートフォンを使用しないこと。また傘をさしたり、荷物を持ったり、片手運転はしないこと。 9. 自転車には反射材をつけ、暗くなったらライトを点灯すること。 10. 自転車乗用中の事故の被害を軽減するために、自転車用ヘルメットを着用すること。 11. 車両整備は充分行っておくこと。 	ヘルメット
自動車運転時	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運転前には体調を確認し、持病や服薬の状況によっては、運転を控えること。 2. あらかじめ、地図や道順を頭に入れて運転したり、複雑な交差点を避けて運転すること。 3. 正しい姿勢で運転席に座り、同乗者もシートベルトを着用すること。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 背中をシートにピッタリつけること。 (2) 耳の穴の延長がヘッドレストの中心にくるようにすること。 (3) プレーキペダルを踏んだ時、膝が少し曲がるくらいの位置に座席を調節すること。 (4) シートベルトは、骨盤を巻くように着けること。 (5) 正しい位置でルームミラー、ドアミラーを合わせること。 	

作業区分	安全就業指針	安全保護具
自動車運転時	<p>4. 走行中はおおむね200mに一回の割合でミラーを確認すること。</p> <p>5. 制限速度内において、車の流れに応じて常に定速走行を心掛けること。</p> <p>(1) 1秒間で時速5kmを超える加速・減速をしないこと。</p> <p>(2) 車間距離は充分とって、走行すること。</p> <p>6. 停止時は、停止時間の長短に関係なく必ずサイドブレーキを引くこと。</p> <p>7. 信号のない交差点への進入時は、まず停止線の手前で停止し、続いて左右の安全が確認できる位置まで徐行してから停止すること。</p> <p>8. カーブの手前では必ず減速し、カーブミラーで対向車を確認すること。</p> <p>9. 自車側が優先道を走行中でも、信号のない交差点に進入する時は加速をせず、アクセルを放した状態にすること。</p> <p>10. バックする時は、バックギアに入れる前に周囲を指差し確認すること。他車がいても慌てないこと。</p> <p>(1) 同乗者がいる場合は、必ず同乗者が後方誘導をすること。</p> <p>(2) 一気にバックしようとせず、「後退→止まる→安全確認→ハンドルを切る→後退」を繰り返すこと。</p> <p>(3) 見えにくい時ほど車を動かさずに、一旦下車し、死角となる部分や車両後部の安全を確認すること。</p> <p>11. 右折時には開始から終了まで、最短距離を避け、ハンドルをゆっくり切り、回るような右折を心がけること。</p> <p>12. 左折前には十分な減速と安全確認をし、横断歩道手前では一旦停止して再び確認した上で左折を完了すること。</p>	
積雪・凍結時	<p>歩行時には次の各項に留意すること。</p> <p>(1) 履物は、路面で滑りにくい靴底を選ぶこと。</p> <p>(2) 小さな歩幅で歩くこと。</p> <p>(3) 靴の裏全体をつけ、軽く足を浮かせて歩くこと。</p> <p>自動車運転時には、次の各項に留意すること。</p> <p>(1) 発進時は「アクセルを踏むのではなく、靴の中で足指を動かすイメージ」でそっと行うこと。</p> <p>(2) スピードは、夏場より10km/h以上減速すること。</p> <p>(3) 車間距離は路面乾燥時の2倍以上確保すること。</p> <p>(4) 視界不良時は前方をよく見て、早めに徐行すること。</p> <p>(5) 急加速、急ブレーキ、急ハンドル等「急」のつく操作をしないこと。</p>	